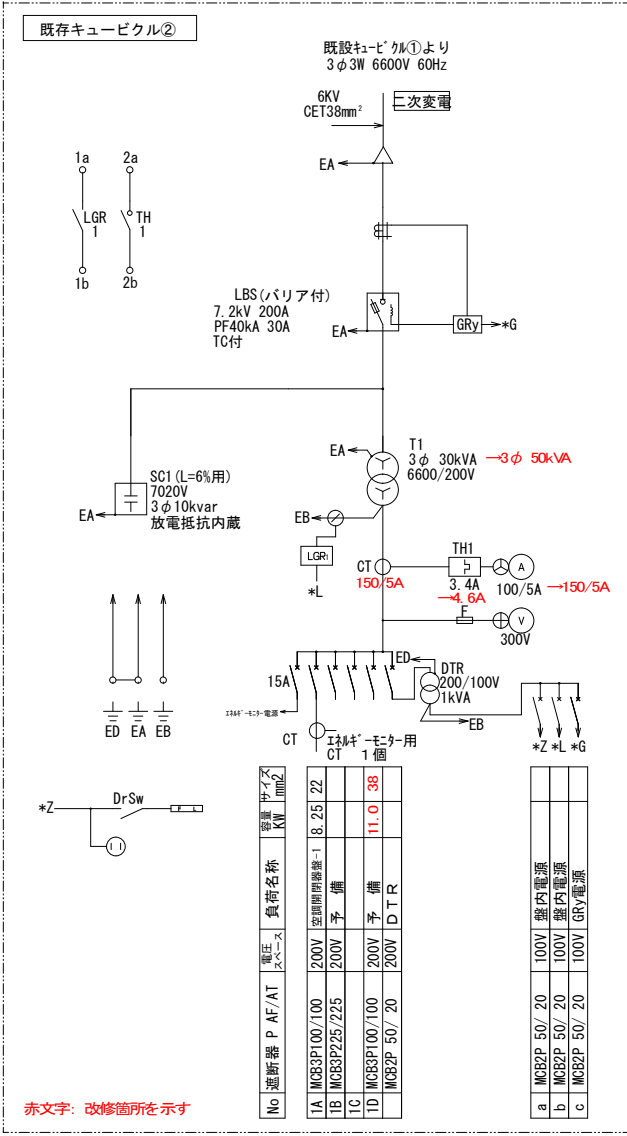


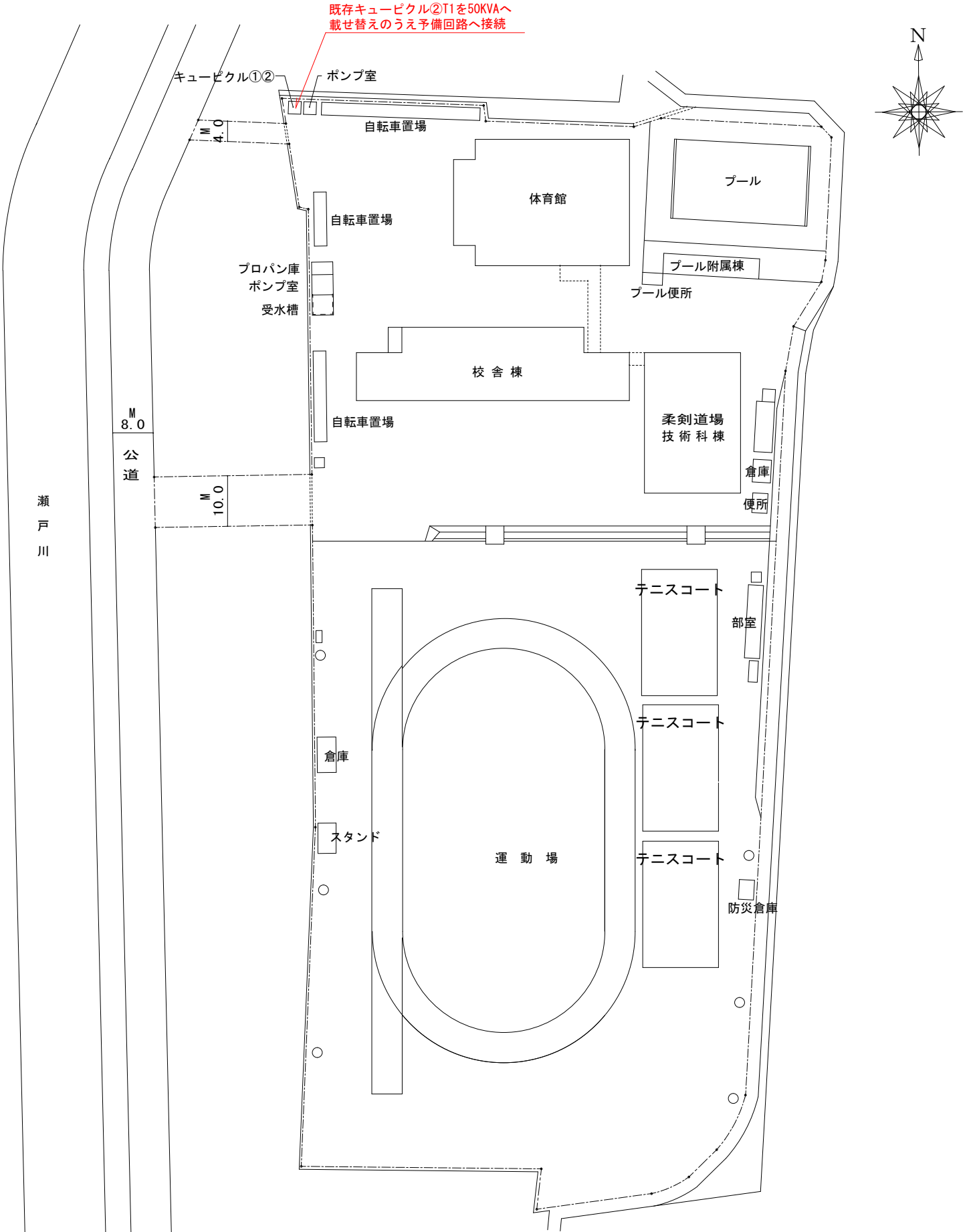
[illegible]

＜特記事項＞

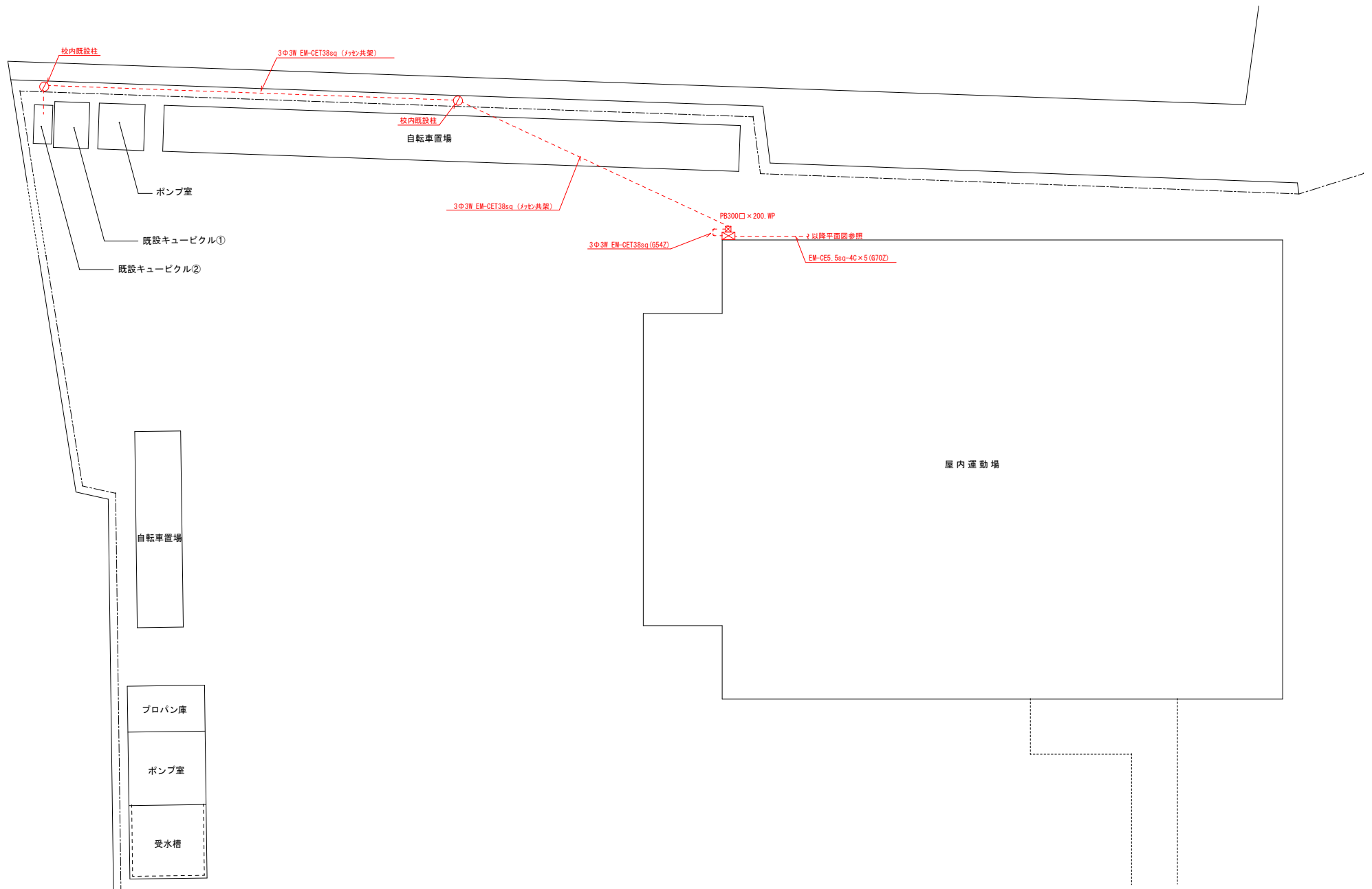
1. 工事関係者以外が作業足場内に立ち入ることがないよう現場管理の中で必要な措置を行う事。
2. 騒音・埃の飛散等が発生しない様に充分な対策を行う事。
3. 生徒・学校関係者・通行人には充分注意し、安全性を確保した上で作業を行う事。
4. 学校内での工事車両は徐行通行とし、経路は学校側と調整する事。
5. 資材搬出入の予定は、学校管理者と随時調整を行い承諾を得る事。
6. 作業員等の利用車両について、駐車場所は学校と協議した位置とする事。
7. 資材・廃材置場について、学校側と調整し学校活動に支障がない場所とする事。
8. 既存施設を破損しない様に細心の注意を払い工事を行う事。
9. 万一破損した場合は、請負者の責任に於いて修復する事。
10. 工事工程の詳細は、学校行事を最優先とし、学校側と密に調整を行い了承を得る事。
11. 本工事に伴う仮設計画は、事前に計画書を作成し、学校管理者に説明を行い承諾を得る事。
12. トイレ等は、学校側と協議し利用場所を決定する事。
13. 作業員の休憩場所は、学校側と協議し位置を決定する事。

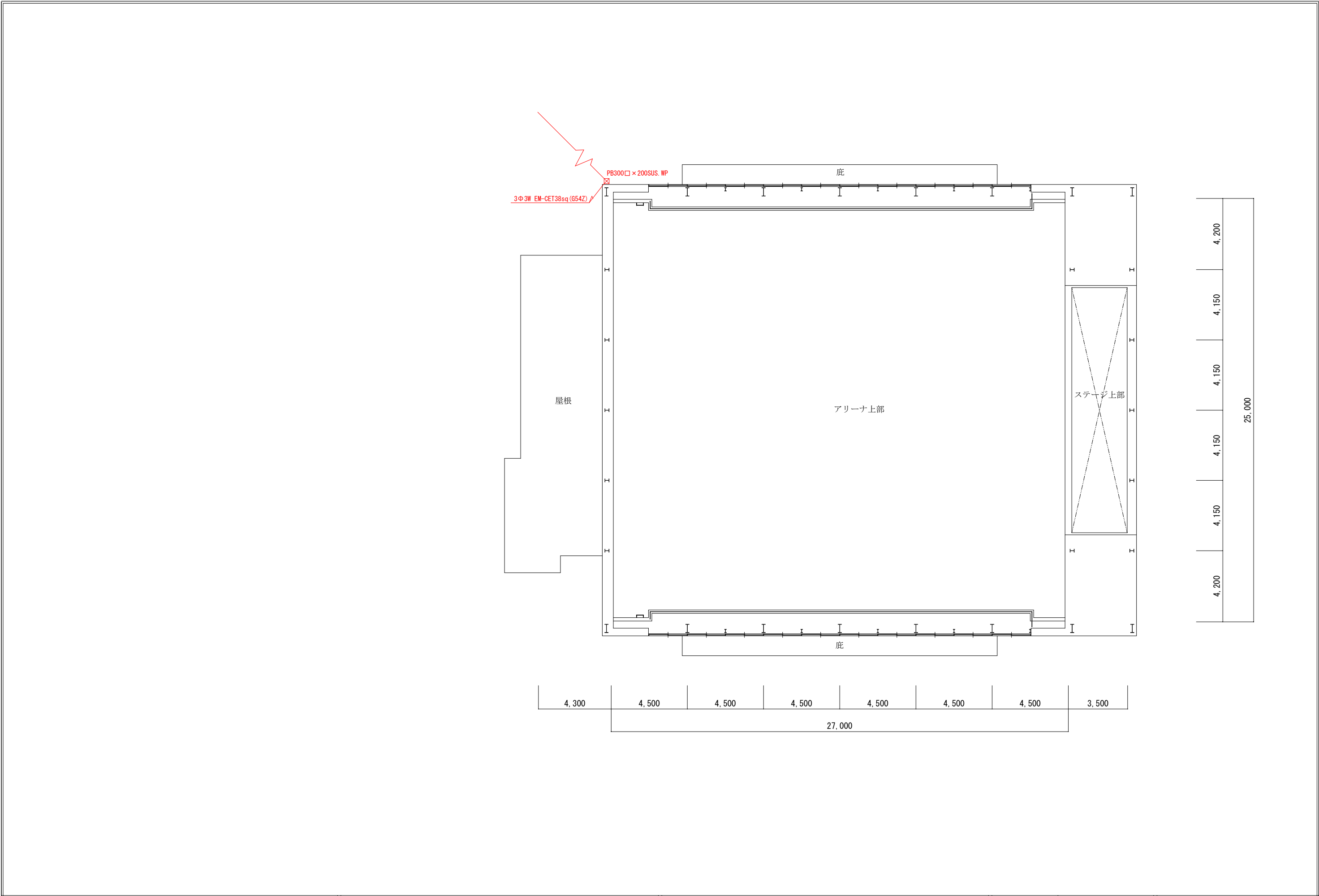


既存高圧受変電設備 単線結線図



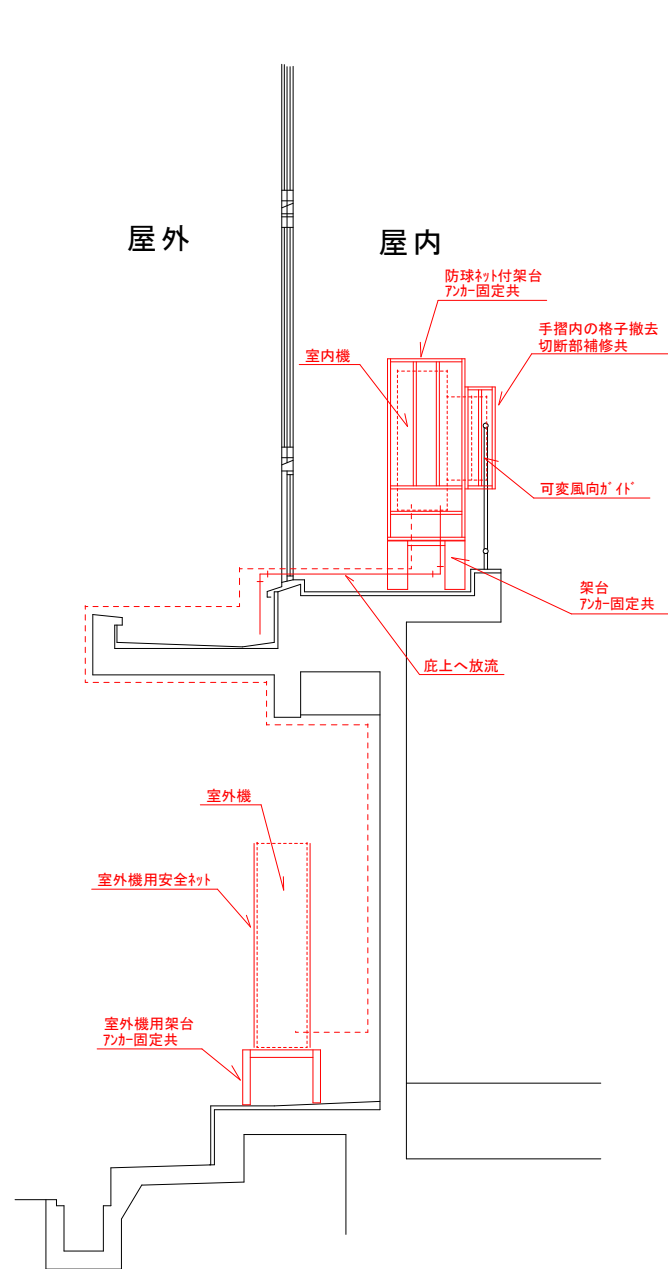
＜配置図＞





藤枝市役所教育部教育政策課 静岡県藤枝市岡出山 1 丁目 1 1 - 1	建設工事名 瀬戸谷中学校体育館空調設備設置工事	図面名 瀬戸谷中学校 平面図（1階上部）	縮尺	A3:1/200	図面番号 E-06
			日付		

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書			給 湯 設 備	1 配 管 材 料 2 配 管 保 温 外 装	※ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ 鋼管（硬質M） ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ 保温付被覆鋼管（保温14mm以上） 屋内露出 ※ 合成樹脂製カバー 屋外露出 ・ 合成樹脂製カバー ※ ステンレス鋼板	そ の 他	1 ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。 2 舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。																																																																																																																																																																																																																																																
⑪ 機 器 類 の 落 下 防 止 措 置 12 パネル落下防止措置 13 既存ダクトの再利用	機器類の落下及び転倒の防止措置を適切に行うこと。 吊り機器類の振れ止めは、「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による。 吊りボルトの規定長さが0.4m未満の場合は、設置状況に応じ適切な振れ止めを行うこと。 天井カセット型空調屋内機にはパネル落下防止措置を行う。 「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による パネル落下防止措置を行う。 改修標準仕様書第3編2. 2. 7「既設ダクトの再利用」による。 ダクト内清掃 ※ 行わない ・ 行う	消 火 設 備 1 配 管 材 料 2 屋 内 消 火 栓 箱						屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40） ・ 原則としてハウジング形継手は使用しない。 地中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS） ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40） ・ ※ 製造者標準仕様 ・ 標準図（P - ）による。																																																																																																																																																																																																																																															
排 煙 設 備	1 ダ ク ト 2 排 煙 口 の 形 式 3 排 煙 口 開 放 装 置 4 排 煙 風 量 測 定	・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（板厚 mm ・ mm） ・ 天井取付 （ ・ スリット形 ・ パネル形 ） ・ 壁取付 （ ・ スリット形 ・ ） ・ 電気式（ 遠隔復帰 ・ 要 ・ 不要 ） ・ ワイヤー式 建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備 ・ 昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。	ガ ス 設 備	1 ガ ス の 種 類 2 配 管 材 料 3 ガ ス メ ー タ ー 4 ガ ス 漏 れ 警 報 機 5 緊 急 遮 断 弁 6 そ の 他	・ 都市ガス 10,750Kcal/nm3 ・ 液化石油ガス 24,000Kcal/nm3 屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ポリエチレン被覆鋼管（PLSF） 地中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP・PLS） ・ ガス用ポリエチレン管（PE） ※ 貸与品 ・ 本工事 外部出力端子（※ 有 ・ 無 ） ・ 設ける ・ 設けない ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。	別表 1 名 称 配管類 ・ 給水管 ・ 排水管 ・ 冷温水管 ・ 冷媒管 ・ 弁類 ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ・ 逆止弁 ・ 緊急遮断弁 ・ ポンプ類 ・ 給水用ポンプ ・ 空調用ポンプ ・ 消火ポンプ ・ ・ タンク類 ・ 受水槽 ・ 高架水槽 ・ 貯湯槽 ・ 膨張水槽 ・ 空気調和設備工事用機材 ○パッケージエアコン ・ 空気調和機（AHU） ・ 冷却塔 ・ ヘッダー ・ 自動制御機器類 ・ 中央監視盤 ・ リモート盤 ・ ・ 給排水衛生設備工事用機材 ・ 衛生器具 ・ 水栓 ・ 組立てマンホール ・ ・ 浄化槽 ・ FRP浄化槽 ・ 動力盤、制御盤 ・ プロワー ・ ・ さく井 ・ スクリーン ・ ・ ・ その他 ・ スリーブ（つば付銅管） ・ ・ ・ ・ ○ 印の付いたものを適用する。																																																																																																																																																																																																																																																	
衛 生 器 具 設 備	1 掃 除 流 し 2 洗 浄 水 量	排水口形式 ※ 目皿 ・ 鎖付き共栓 改修工事における大便器の洗浄水量の調整 調整を（※行う ・ 行わない） 大便器の洗浄水量の調整は次のとおりとする。 新設の場合：6.5リットル、既存利用の場合：便器の仕様に合わせる	浄 化 槽 設 備	1 処 理 方 式 2 処 理 能 力 3 本 体 構 造 4 放 流 水 質 5 配 管 材 料 6 土 留 め 工 法	合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第（ ）（ ）方式） 処理対象人員 人 処理水量 m3/日 ・ コンクリート製 ・ FRP製 BOD ppm 以下 ・ 一般配管用ステンレス鋼管（ ） ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 （ ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）（ ） ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																		
屋 内 給 水 設 備	1 配 管 材 料 2 配 管 接 合	屋内一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB） ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD） ・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD） 地中埋設 ね じ 接 合 ※ 100A 以下 ・ A 以下 フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上 （FVB、FVDとする）	さ く 井 設 備	1 種 別 2 掘 削 方 式 3 ケ ー シ ン グ ・ 4 ス ト レ ー ナ ー 5 電 気 検 査 6 水 質 検 査	・ 浅井戸 ・ 深井戸 ・ ロータリー式 ・ パーカッション式 ・ ダウンザホールハンマ式 ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ ※ ステンレス製巻線型 ・ ※ 連続測定 ・ スポット測定 ※ 行う（原水全項目） ・ 行わない																																																																																																																																																																																																																																																		
屋 外 給 水 設 備	1 上 水 道 加 入 金 2 量 水 器 3 量 水 器 樹 4 配 管 材 料 5 配 管 接 合 6 緊 急 遮 断 弁 装 置 7 水 圧 試 験	※ 不要 ・ 要（※ 別途 ・ 本工事） ※ 貸与品 ・ 本工事（水道事業者の認定品） ※ 水道事業者の規格 ・ 標準図 形 地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）（40A 以下） ・ 水道用ポリエチレン二層管（40A 以下） ※ 水道配水用ポリエチレン管（50A 以上） 架 空 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・ ね じ 接 合 ※ 100A 以下 ・ A 以下 フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上 （FVB、FVDとする） 水道配水用ポリエチレン管は電気融着接合とする 駆 動 方 式 ※ 電気式 ・ 機械式 水道配水用ポリエチレン管は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会が 推奨する試験方法による。	撤 去 工 事	1 冷 媒（フロン系）の 回 収 2 家 庭 用 エ ア コ ン の 処 理 3 吸 収 冷 凍 機 ・ 吸 収 冷 温 水 機 等 の 臭 化 リ チ ウ ム 水 溶 液 等 4 石 綿 含 有 建 材 の 除 去 工 事	※ 無 ・ 有 （1）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って 行うこと。 また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。 （ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等） （2）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」 の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、 施設管理者へ引き渡しを行う。 ※ 無 ・ 有 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。 事前調査 ※ 行う ・ 行わない 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有し ている建築材料等の使用の有無について調査する。 分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿粉じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所） 測定箇所等は監督職員の指示による。 石綿作業主任者 石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質 作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、 労働者の指導等必要な措置を行うこと。 石綿含有品 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト） ・ 配管用成形保温材 ・ 天井材 ・ 外壁（ ・ 塗材 ・ スレート ・ ） 撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理 を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。 石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の 外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設 する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して 湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、 飛散防止措置を講ずること。																																																																																																																																																																																																																																																		
屋 内 排 水 設 備	1 配 管 材 料 2 配 管 施 工 3 試 験 4 そ の 他	雑 排 水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 排水・通気用耐火二層管 汚 水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 排水・通気用耐火二層管 通 気 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 排水・通気用耐火二層管 (1)排水機主管に設ける90°曲管は原則として大曲管とする。 (2)排水縦管の下部曲がり管及び排水横枝管の水平曲がり管は大曲管とする。 満水試験 ・ 行わない ※ 行う 煙 試 験 ※ 行わない ・ 行う 排水の通水試験は、樹への放流を確認し、報告書を作成すること。 （空調ドレン排水を含む） 流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合 は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可） 耐火二層管は国土交通大臣認定及び（一財）日本消防設備安全センター性 能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。																																																																																																																																																																																																																																																					
屋 外 排 水 設 備	1 放 流 納 付 金 2 配 管 材 料 3 樹 類 4 樹 の 深 さ	※ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事） ※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU） マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。 蓋の鎖 鉄製蓋 ※ 要 ・ 不要 塩化ビニル製蓋 ・ 要 ※ 不要 ※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。 ・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合） 汚水樹 小口径樹（150mm（流入口径75mm以下に限る））：深さ1,000mm以下 小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下 小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下 雨水樹（ハースタ付） 小口径樹（150mm）：深さ1,200mm以下 小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下 小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下																																																																																																																																																																																																																																																					



部分断面 S=1/50

